

三 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當  
四 家族手當

勞務者ニ對シ其ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直系尊屬、滿十八歳未満ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

〔參照〕

昭和十六年 九月十日 厚生省告示第四百五號ハ本號ト同伴ナリ

厚生省告示第三十二號

賃金統制令施行規則第十三條第三號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十條第二項ノ賃金ニ含まザル手當ヲ左ノ通指定ス但シ第二號、第三號、第四號又ハ第五號ノ手當ハ地方長官又ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル昭和十六年七月厚生省告示第三百十三號ハ之ヲ廢止ス

一 家族手當

勞務者ニ對シ其ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直系尊屬、滿十八歳未満ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

二 季節手當

特定ノ作業ニ對シ季節ヲ限リ支給スル手當

三 臨時作業手當

臨時ノ作業ニ對シ支給スル手當

四 特殊作業手當

特殊ノ作業ニ對シ支給スル手當

五 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當

六 初任手當

通勤手當、下宿手當、住宅手當其ノ他必要已ムラ得ザル手當ニシテ就業一日ニ付男子職工三十錢、女子職工二十錢、男子鑛夫五十錢、女子鑛夫三十錢以內ニ於テ支給スル手當

〔參照〕

昭和十六年 七月二十六日 厚生省告示第三百十三號ハ本號ト同伴ナリ

米麥検査令の公布

米麥検査令は昭和十七年十二月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。なほ同令施行規則も同日付官報を以て公布せられた。

米麥検査令（昭和十七年十二月二十三日勅令第八百四十七號）

第一条 米麥ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ハ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米麥ニシテ食糧管理法第三條第一項ノ規定ニ依リ政府ニ賣渡スベキモノノ種類、銘柄、品位、量目及包装ニ付食糧検査所ノ検査ヲ受クベシ但シ第二條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥其ノ他農林大臣ノ指定スル米麥ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二条 前條ノ者ハ同條ノ規定ニ依リ検査ヲ受クベキ米麥以外ノ米麥ヲ引渡サントストルトキハ農林大臣ハ定ムル所ニ依リ其ノ種類、銘柄、品位、量目及包装ニ付食糧検査所ノ検査ヲ受クベシ販賣組合、農業倉庫業者其ノ他農林大臣ノ指定スル者其ノ所有シ又ハ占有スル米麥ヲ引渡サントストルトキ亦同ジ

前項ノ規定ニ依リ検査ハ同項ノ規定ニ依リ既ニ検査ヲ受ケタル米麥其ノ他農林大臣ノ指定スル米麥ニ付テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

第三条 食糧検査所長ハ第一條又ハ前條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥ニ農林大臣ノ定ムル印章、記號又ハ證票ヲ附ス

第四条 前條ノ規定ニ依リ印章、記號又ハ證票ノ毀損抹消、除却又ハ隠蔽ニ係ル米麥ニ付テハ第一條又ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ更ニ検査ヲ受クルコトヲ要ス

第五条 本令ニ規定スルモノノ外検査ニ關シ必要ナル事項ハ農林大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和十七年十二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行前廳府縣令ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥ハ之ヲ第一條又ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス  
前項ノ場合ニ於テ廳府縣令ニ依リ附シタル印章、記號又ハ證票ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依リ附シタル印章、記號又ハ證票ト看做ス

食糧管理法の一部施行期日の件公布

食糧管理法の一部施行期日の件は昭和十七年十二月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

食糧管理法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十七年十二月二十三日)  
(勅令第八百四十六號)

食糧管理法第八條及第三十五條第一號第二號ノ規定ハ昭和十七年十二月二十五日ヨリ、同法第三十七條ノ規定ハ同法第三十五條第一號第二號ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十七年二月二十日法律第四十號食糧管理法抄録

第三條第一項 米穀、大麥、粟麥又ハ小麥(以下米

麥ト稱ス)ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作

料トシテ之ヲ受クル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其

ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米麥ニシテ命

令ヲ以テ定ムルモノヲ政府ニ賣渡スベシ

第八條 第三條第一項ノ者ハ同項ノ規定ニ依リ其ノ

者ガ政府ニ賣渡スベキ米麥ニ付勅令ノ定ムル所ニ

依リ検査ヲ受クベシ但シ勅令ヲ以テ定ムル場合ハ

此ノ限ニ在ラズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ検査ノ外勅

令ノ定ムル所ニ依リ主要食糧ニ付検査ヲ受クベキ

コトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下

ノ罰金ニ處ス

一 不正ノ手段ニ依リ第八條ノ規定ニ依ル検査ヲ

受ケ又ハ受ケントシタル者

二 第八條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ受ケザル者

第三十七條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人

使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關

シ第三十一條、第三十二條、第三十四條又ハ第三

十五條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スル外ノ其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

朝鮮農地開發營團令ノ公布

朝鮮農地開發營團令は昭和十七年十二月二十七日付官報を以て左の如く公布せられた。

朝鮮農地開發營團令 (昭和十七年十二月八日)  
(勅令第三十四號)

第一條 朝鮮農地開發營團ハ重要農産物ノ増産ヲ圖ル爲

必要ナル農地ノ開發ニ關スル事業ヲ行フコトヲ目的トス

朝鮮農地開發營團ハ法人トス

第二條 朝鮮農地開發營團ハ其ノ主タル事務所ヲ京城府ニ置ク

朝鮮農地開發營團ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ必要ノ地

ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 朝鮮農地開發營團ノ資本ハ千萬圓トシ之ヲ十

萬圓ニ分チ一口ノ出資金額ヲ百圓トス但シ資本ハ朝

鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第四條 朝鮮農地開發營團ノ出資者ハ政府、公共團

體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業

務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上若ハ

議決權ノ過半數ガ外國人若ハ外國法人ニ屬セザルモ

ノタルコトヲ要ス

第五條 朝鮮農地開發營團ハ出資ニ對シ出資證券ヲ發

行ス

出資證券ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六條 政府ノ引受ケタル出資ノ出資金拂込ハ其ノ他

ノ出資ノ出資金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第七條 朝鮮農地開發營團ノ出資者ノ責任ハ其ノ出資

額ヲ限度トス

出資者ハ朝鮮農地開發營團ニ拂込ムベキ出資額ニ付

相殺ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ス

第八條 出資者ハ朝鮮農地開發營團ノ承認ヲ經テ其ノ

持分ヲ讓渡スルコトヲ得

第九條 拂込ヲ怠リタル出資者ニ對シ朝鮮農地開發營

團ガ一月以上ノ相當ノ期間ヲ定メ拂込ノ請求ヲ爲シ

タルニ拘ラズ出資者ガ拂込ヲ爲サザルトキハ朝鮮農

地開發營團ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ出資者ノ持

分ヲ處分スルコトヲ得

朝鮮農地開發營團ハ持分ノ處分ニ依リテ得タル金額

ヨリ滞納金額及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ額ヲ控

除シタル金額ヲ從前ノ出資者ニ拂戻スコトヲ要ス

持分ノ處分ニ依リテ得タル金額ガ滞納金額ニ滿タザ

ル場合ニ於テハ朝鮮農地開發營團ハ從前ノ出資者ニ

對シ不足額ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前三項ノ規定ハ朝鮮農地開發營團ガ損害賠償及定款

ヲ以テ定メタル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

出資者ガ第一項ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ朝

鮮農地開發營團ハ其ノ出資者ニ對シ二週間以内ニ出

資證券ヲ朝鮮農地開發營團ニ提出スベキ旨ヲ通知ス

ルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ出資證券ハ其

ノ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮農地開發營團ハ遲滞ナク失

效シタル出資證券ノ番號並ニ其ノ出資者ノ氏名及住

所ヲ公告スルコトヲ要ス

第十條 朝鮮農地開發營團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規

定スベシ

一 目的